

FIGU Landesgruppe Japan



# フィグ・ヤーパン通信

## 第44号

FIGU-JAPAN BERICHT, Nr.44

発行日 2010年10月1日

発行 フィグ・ヤーパン <http://jp.figu.org/>

### 新刊書『プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録(5)』のご案内

コンタクト記録シリーズの5作目となる、『プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録(5)』が、水瓶座時代出版より10月1日に翻訳出版されました。本書には、コンタクト記録(3)そして(4)に引き続き、第35回から第38回会見と、ビリーが巨大宇宙船に搭乗して旅行した第31回会見の続きが収録されています。

第31回会見では、地球人とほぼ同等の発達を遂げた人間の住む惑星カルタグでの核戦争についてや、第37回会見では1961年にヒル夫妻が出会ったゼータ・レティクル星人についてなどが紹介されています。ここでは現在の地球人の進化についてセムヤーセが語った言葉を紹介합니다。

#### セムヤーセ (第31回会見より)

522. 昔は、地球の人間に何らかの思考形態を伝えるためには、目に見える証拠が必要でした。

523. でもこの目に見える証拠のために、人々は奇跡を信じ始め、またもや迷妄に踏み入ったのです。

524. 現代の地球は目に見える証拠を越えたところを進んでおり、明晰で論理的な理性と、同様にまた明晰で論理的な悟性の道をひたすら歩まなくてはなりません。

525. この価値のみが現代にふさわしく、それらは目に見える証拠よりも優れた証拠なのです。

526. 今日、進化の道を進むことができるためには、意識の力、知識、英知そして愛が、極めて重要な意味を持っています。



プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録(5)  
(水瓶座時代出版刊)

装丁：A5判 ソフトカバー

頁数：290 ページ

定価：2,000 円 (税込み)

重量：395 グラム

ただ今発売中です

527. イマヌエルの時代は、そうではありませんでした。というのは、その当時の地球人の知識はまだあらゆる点で、目で見、耳で聞くことができる事物に非常に強く捕われていたからです。

528. そのため当時の人間は、目に見える証拠を見たり聞いたりすることで自分の思考力を自覚し、それによって進化の道を進むことが保証されたのです。

529. でも今日の地球人はその段階を乗り越えて、より大きい理性と悟性を獲得し、自分の思考力をはっきり意識するようになりました。

530. そのため地球人が進化するには、この力を獲得して有益に応用することが求められます。

531. けれども、これは本当に大変な意識的努力を払うことによるのみ可能です。

532. つまり地球人はいまや、目に見え耳に聞こえる証拠を必要とすることなく、意識的作業そのものによって、知識、真理、英知そして愛を形成すべき

進化段階を生きているのです。

533. しかしながら、この時代にあつて人間が目に見える証拠あるいは耳に聞こえる証拠を要求するならば、その人間は意識の点で、まだ完全に新しい時代の段階まで昇りつめていないこと、ある事柄においていまだに古い時代にとどまっているということが明らかです。

534. 水瓶座時代の地球において今日の証拠となるのは、人間の理性であり悟性であり、そして真理の無謬<sup>むびゆう</sup>の論理です。

535. でもこれを地球人は、その適応力に優れた思考形態により自ら認識しなければなりません。

### 『プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録』 に関する出版状況について

今回『プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録(5)』が出版され、ドイツ語の原書『Plejadisch-Plejarische Kontaktberichte Block1 (第1巻)』を(1)から(5)巻に分割しての翻訳・出版が完了しました。なお、原書では第10巻まで出版が進んでおり、第11巻についても今年の冬の出版に向けて作業中とのことです。このように、日本語訳の出版はまだまだ始まったばかりといった状況ですが、ここで改めて『プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録』のドイツ語原書と日本語版の翻訳出版状況をお伝えします。

1975年から2010年1月11日までに、プレアデス／プレヤールの地球外生命やその連盟に属する者たちと、902回にわたる直接のコンタクトと1081回のテレパシーによるコンタクトが行われましたが、それは現在もまだ続いています。そのうちの486回分のコンタクトについては記録が存在します。

ドイツ語原書では、1975年1月28日の第1回会見から2006年8月17日の第433回会見までを、以下の構成で10巻(1巻約500ページ)のコンタクト記録にまとめて、出版しています。

#### Plejadisch-Plejarische Kontaktberichte

**Block 1** 1～38回会見 1975年1月28日～  
1975年11月13日

**Block 2** 39～81回会見 1975年12月3日～  
1977年9月4日

**Block 3** 82～132回会見 1977年9月6日～  
1980年7月18日

**Block 4** 133～181回会見 1980年8月8日～  
1982年12月31日

**Block 5** 182～229回会見 1983年2月3日～  
1989年7月31日

**Block 6** 230～239回会見 1989年10月11日～  
1991年12月20日

**Block 7** 240～260回会見 1991年12月30日～  
1998年2月3日

**Block 8** 261～340回会見 1998年2月24日～  
2003年3月19日

**Block 9** 341～383回会見 2003年4月2日～  
2005年3月17日

**Block10** 384～433回会見 2005年4月16日～  
2006年8月17日

なお、1996年時点でのコンタクト記録の要約として『宇宙の深遠よりープレアデス／プレヤール人とのコンタクト』(原書『Aus den Tiefen des Weltenraums』)が翻訳出版されています。

最近では重要な内容の場合や読者からの質問への回答として、FIGU公報(原書『FIGU-Bulletin』)やFIGU特別公報(原書『FIGU-Sonder-Bulletin』)にコンタクト記録が紹介されています。その一部は翻訳され本紙にも記載されておりますが、以下のFIGUのウェブサイトのアドレスより、原書を直接見るができるようになっております。

**FIGU公報** : <http://www.figu.org/ch/verein/periodika/bulletin>

**FIGU特別公報** : <http://www.figu.org/ch/verein/periodika/sonder-bulletin>

プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録に関する情報量はとても多く、翻訳にはまだまだ多くの時間が必要ですが、ビリーのミッションの成り立ちを知るための貴重な資料として、今後もコンタクト記録の翻訳作業を続けてまいります。なお、『真理の杯』の翻訳出版を最優先課題として作業を行っている都合上、残念ながら現在はコンタクト記録の翻訳作業は停止しております。しかし時事的に公開が必要と思われるコンタクト記録に関しては、今までどおり本紙等を通じて迅速に公開する予定です。

## スタディグループおよび国内グループの本質

### 緒言

FIGUスタディグループおよびFIGU国内グループは、あらゆる方向において現実と真理を探し求め、自分自身の意識、思考、感情および行動の発展に努めるすべての人々のためのものである。スタディグループおよび国内グループの関心の中心にあるのは、どのような種類の道であろうと人格的・個人的展開の途上で人々を援助するよう常に努めることである。人はみなまったく自由であり、独立しており、尊敬に値する。それゆえFIGUスタディグループおよびFIGU国内グループにできるのは、人が自分の認識、自分の自己認識、自分の知識、そして自分の知恵を働かせるよう動機づけることだけである。そのために役立つのは人生のあらゆる分野における実効的な価値のある情報である。スタディグループおよび国内グループのメンバーはそれらを率直に学び、誠心誠意、全力を尽くして日常において実現しようとする。

### 動機

FIGU情報の全価値は世界中で唯一無二のものである。なぜならその源は、プレヤール星団に由来する高度に発展した地球外文明とコンタクトしているスイス人〈ビリー〉エドゥアルト A. マイヤーが教える〈霊の教え〉だからである(プレヤール星団は我々に知られているプレアデス星団とは約85光年離れており、地球からの距離は約500光年である。その住人は彼らのシステムに従ってプレヤール人と呼ばれているが、プレヤール星は我々の宇宙からほんの一瞬間ずれた別の次元もしくは別の時空構造に存在している)。プレヤール人およびアラハト・アテルサータとペターレの高次の霊水準、そしてなによりも新時代の預言者として全地球上で絶対に類のない未曾有の知識と偉大な知恵と愛をその全人生において獲得した〈ビリー〉エドゥアルト・アルベルト・マイヤー(BEAM)が、霊の教えのミッションにかかわっている。教えの全価値と非常に多くの必要な情報は今日20,000ページ以上の本に(ドイツ語で)書き記されているが、そのすべてが完全に正しく評価されるのは何百年もあと(約800年後)にな

ってからである。すなわちプレヤール人の証言によれば、そのとき初めて霊の教えの認識は地球の人間の間で大きな実を結ぶであろう。しかしながらそのすべてはすでに現在、境界科学・精神科学およびUFO研究のための自主共同体(FIGU)(ヒンターシュミットリュティ1225、CH-8495シュミットリュティ、スイス)によって紹介され、広められ、展開されている。ただし、それは布教という形では決して行われぬ。世界中のFIGUスタディグループおよび国内グループは現在すでに〈霊の教え〉(その起源において〈預言者の教え〉とも〈真理の教え・霊の教え・生命の教え〉とも呼ばれる)の真価を認めて、そのすべての認識と価値に取り組んでいる。彼らはそれを行うために、修得すべきすべてのことを収集し、学び、翻訳し、講義している。そうすることによって彼らはそれぞれの国の言葉ですべての人間や関心のある人々に、このプロセスに個人として自由に入ることができるチャンスを提供するのである。そうするのは、進んでそれとかかわるすべての人がそれぞれの人生に偉大な価値と進歩した認識を得られるようにするためである。事実、教え全体は、我々の地球と宇宙の起源の真の歴史、人生の本当の意義、地球外の文明、堅実な瞑想、人間相互の関係、そして愛に関する包括的な認識も提供する。しかしそのなかにはまた多くの別の側面、たとえば人間の社会、文化、意識、無意識、心、性格、霊なども含まれている。学ぶべきテーマ、論じるべきテーマの範囲はきわめ多岐にわたり、人生のあらゆる分野を包含している。そしてFIGUスタディグループおよび国内グループのメンバーはこれらすべてを、あらゆる方向で生涯にわたり止むことなく常に行われる進化の努力と見なしている。一人ひとりが個人として自由に意識的に展開することのみが、人生の意義の実現を、すべての人間の価値と人間関係の価値の創出を、そしてまた論理を、最後に世界平和の達成を保証するのである。

### アプローチにおける等価性

我々FIGUスタディグループおよび国内グループのメンバーは〈知者〉ではなく、また自分たちを〈知

者)であるとも思っていない。我々はあらゆる点で探究者、学習者である。というのは我々もまた生きることを学ばなければならないからである。つまり我々は自分の思考と感情を働かせて、我々の仕事や私生活をはじめとするすべての義務を果たすことを学んでいるのである。それゆえ我々は隣人<sup>みじん</sup>に対して微塵も偉ぶらず、絶対的な対等性と等価性、畏敬と相応の控え目な態度に根ざした最善の関係を結ぶべく努めている。我々は一人の人間そのものの価値を社会的な地位、資産状況、能力や知識などと関連づけて見ることは決してしない。なぜならすべての人間の価値は、人間存在の本来の本質によって常に変わることなく与えられているからである。我々はすべての人間を1回限りしか存在しない者として受け止め、その人格的な個性を評価し、これを原則として善意で助長する。我々がこのようにするのは、すべての人がみな自分自身であり、もしくは自分自身となり、正しい道を見いだして適切な形で展開できることを願うからである。この道を人は自分で決めるのであるが、自分の思考と感情、意見、企て、意図、志向および経験についても同様である。

### 信仰の不在、批判能力、率直

我々 FIGU スタディグループおよび国内グループのメンバーは FIGU の教えの信者でも、その他なんらかの者の信者でもない。なぜなら我々は唯一自分自身の批判的思考によってのみ真の認識、知識、知恵そして愛に到達できることを知っているからである。これは徹底して、すなわちすべてを分析し、比較し、考量し、考え抜いた結果、人はあらゆる観点で自分自身の独自の結論に達する。しかしながら批判的思考は決して誇張された不健全な批判や知ったかぶり、狂信的な思い込みや先入観が明るみに出ることではない。なぜならこのような無価値は、宗教その他の信仰とあいまって現実の認識とその真理を、そして価値あるすべてのものに到達することを妨げるからである。自由で率直で先入観に囚われない批判的思考は、人々が個々の仕方によって真理をそれぞれの方向で認識し、究めることができるように、そうして得られた真理を真の価値として毎日の生活と活動に組み入れるために必要である。FIGU スタディグループおよび FIGU 国内グループの

メンバーはまさにこの思考価値をもって、FIGU 資料、情報、知識および認識と、そしてまた〈ビリー〉エドゥアルト・アルベルト・マイヤーの教え、さらには地球外生命体および霊水準と取り組んでいるのである。しかしこれらすべては何らかの信仰、宗教、イデオロギー、教派主義、またはあれやこれやの思考方向の盲目的な代弁者、頑迷、依存性、隷属、屈従、狂信、不自由などとはまったく関係ない。ここに枚挙したすべての否定的な性質、アプローチおよび傾向を FIGU スタディグループおよび国内グループはすでに芽のうちに摘んでしまう (FIGU 自体が世界中でしているように)。なぜならそれらの本性はきわめて原始的で、目的や人生に敵対し、カルト的、停滞的であり、それらの無価値は人間を意識的に奴隷化し、人間がそれらにかかずらうと弱い被造物になってしまうからである。

### ダイナミックな相互作用の理論と実践

ここで別の非常に重要な側面に言及する。それは FIGU スタディグループおよび国内グループのメンバーにとって唯一の理論は存在せず、実践のみがあるということである。それゆえ我々は理論と実践を1枚のコインの両面として理解している。我々の全学習は最終的には根本的に本来の人生もしくは本来の生活実践を修得し、したがってまた人生の過程、人生の事実、同様の関連および因果の自然法則を実践することである。したがって我々は何よりも実効的な現実<sup>reality</sup>に共感を見いだすもの、すなわち自分自身の人生において因果的作用によって把握し、経験し、体験し、そして実現できるものを真理として認知する。そうしてのみ本当の知識と、そこから生じる知恵の真髓と、そしてまたすべては実際に書かれ、考えられ、感じられ、または言われ、そして BEAM の〈霊の教え〉によって教えられるとおりであるという確信が生まれるのである。すなわち FIGU スタディグループおよび国内グループのメンバーの主たる目標は、創造と自然の法則と掟に従ってより良く、正しく生きることである。したがって我々は、我々自身だけでなく、進んで教えに向かう全同胞も、自分自身の日常、日々の思考、感情および行動をより良く形成し、実現することを欲する。これは単に巧みに語り、勝手に思い込んだ〈進歩〉、〈精

神化)、〈学識〉または〈知性〉またはこれに類するもので感銘を与えようとするのではない。我々FIGUスタディグループおよび国内グループのメンバーは、FIGUの他のすべてのグループのメンバーと同じく、自分を際立たせて自称膨大な知識を誇示したが知る知ったかぶり屋や物知り顔をする者ではない。我々はまったく謙虚に、しかしながら教派や宗教に刻印された卑屈さは微塵もなく、自分の人生、自分の意識、自分の思考、感情、行動および行為に対する我々の義務を果たそうとする。それと同時に我々は、人間および人間相互のすべての必要な価値を的確で意識的で継続的に展開し、創出し、実践することを通して我々の義務を拡大することに努めている。それにもかかわらず我々は自分たちが獲得した認識や経験に対して自信をもって恥じることなく、これらを公衆に向かって公然と定式化し発表することも厭わない。すべての個人が教えの真の情報に近づくことが保証されなければならない。それによってこれらを究めて、処理し役立てることもできれば、あるいは何らかの理由から、場合によっては偏見や障害などからこれらを退けることもできる。

### カルト的姿勢に対する異議、明確さ、 現実的な価値

我々は何らかの秘密めいた戯れを行って、同胞に真理の事実を覆い隠すことに喜びを見いだす秘密主義者ではない。すでに説明したように、人はみな例外なく人生のあらゆる分野の重要な情報に対する権利を持っている。それゆえ我々はあらゆる形の秘密めかす行為とも、あらゆる形のエリートぶった態度とも、真理とはあれやこれやの〈選ばれし者〉や〈選民〉やこれに類する者たちだけのものであるという見当違いの見解とも距離を置く。ここから帰結するように、我々は陳腐な真理や陳腐な関連に謎めかした衣装を着せて隠蔽し、自分に関心を持たせようとする、あらゆる形の〈神秘〉にも反対する。これらの理由およびさらに別の理由から、我々は関心のあるすべての人が明確に解釈された事実と直面し、独自の仕方ですれと取り組むことができるように、可能な限りの明確さを、すなわち我々の情報、翻訳、文章および講義において可能な限りの具体性と精密さを追求する。

### 信仰および人間の停滞

#### すべての時代遅れのシステムを拒否

上述したこと、および我々のウェブサイトに掲載されているその他のいろいろな文章から明らかなように、我々のグループはすべての宗教に対し、すべての教派的なもの、カルト的なもの、教會的なもの、偶像に関係した事柄、意識を奴隷化する者、祈願者、儀式的なものに対し、そして何らかの形で〈神・造物主〉と、何らかの神々、天使、カルマ、チャネリングまたは信仰一般と関連のあるすべてのものに対して距離を置く。同様に我々は途方もない量のその他の常軌を逸した逆説的な〈精神方向〉、〈精神的な教え〉、〈秘教の教え〉、〈UFO学〉、〈ニューエイジ運動〉などからも完全に距離を保つ。今日、盲信や教派に関係したあらゆるグループや組織がまるで毒キノコのように地中から生え出て、人生の多くの分野に混乱、幻想、夢想、敬虔な願望、幻影を持ち込んでいる。こうしたことはつまり人間に本当に大事なもの、すなわち現実とその実効的な真理、自然法則、自分自身の思考と感情の自由、あらゆる方向における発展と認識、そして真の知識をもたらすことはない。もちろん我々のグループは、どのような邪説にもひとかけらの真理や真の関連があり、それらが輝きを放って無知な者や探究する者を非現実的な網の中に誘い込んでいることを否定はしない。だからと言って、そのような誤った教えの本来のコンセプトおよび出発点が現実にはいかなる根拠も見いだせず、巧みに考えられた嘘であり、たった今指摘した病的な幻想や信仰であることに変わりはない。FIGUスタディグループおよび国内グループが学び、利用し、布教することなく教え広めている境界科学・精神科学およびUFO研究のための自主共同体(FIGU)の情報は、その価値と起源において唯一無二のものであり、それゆえ地球上に存在する他のいかなる方向または教えとも比較できない。

#### FIGUスイスとの友好と密な協力

FIGUスタディグループおよび国内グループは、スイスのセムヤーセ・シルバー・スター・センター、もしくはFIGUの基幹グループおよび一般会員グループ、ならびに世界中のFIGUのその他の公的なグループとの正式な協力を特徴としている。

我々はこの正式な協力を、自主共同体、FIGU資料、したがってまた〈霊の教え〉との目的に適った関係の創出のため、および関連するあらゆる情報の理解と正しい普及のために決定的に重要であると見なしている。このことはまた言うまでもなく、我々は〈ピリー〉エドゥアルト・アルベルト・マイヤーと、彼の手で創設されたFIGU協会とをいささかも区別しないことを意味する。このような区別は真理において与えられておらず、存在していてもいない。なぜならFIGU協会はBEAMによって創設され、彼によって正規の基幹グループ会員資格という形で今日に至るまで導かれ教授されてきたからである。それは必然的であると同時に、そもそもの初めからそのように設けられていた。それゆえ我々の活動はFIGU共同体、FIGUグループおよびFIGUメンバーとの長年にわたる人格的な人間相互の関係の上に築かれてきた。なぜなら我々は唯一そこにおいてのみ真の実効性と、現実的なアプローチと、そしてすべてのFIGU情報が論理的であり、目的に適切であり、純粋に広められ公表されてきたことの保証とを認めるからである。

### ドイツ語の促進と習熟

FIGUスタディグループおよび国内グループは利用できるあらゆる手段を用いてドイツ語の学習と習熟を促進している。なぜならこの言語の知識がないと、それぞれの翻訳者と、すべての原文の翻訳者による理解および解釈に依存することになるからである。しかしながらそれによってFIGUの書籍や刊行物に個々に接近することも、それらの自由な選択、そしてまた真の理解および実効的な学習も不可能になる。それに加えてドイツ語の少なからぬ説明および概念は他の言語に等価に翻訳できず、それゆえこれらの言葉では翻訳者がどんなに努力しても原文の発言は幾分弱まり、場合によっては誤りや不正確さも生じる。ドイツ語の起源は太古の言語<sup>アリン</sup>Arjinであるが、これはその全価値、精密さおよび可能性においてこの地球上で最も完全な言語である。さらに他の言語ではこれまで翻訳された文章はごくわずかしか存在していない。というのは種々のスタディグループおよび国内グループの資金および可能性も同様にこれまでのところごくわずかだからである。ドイ

ツ語に習熟すればするほど、良く、速く、そして実効的に自主共同体のすべての秘密と知識に参入することができる。BEAMがドイツ語で書かれたすべての霊の教えの原文に織り込んだ進化のコードは、意識の真価を促進し加速させ、そうすることによってFIGUのあらゆる価値と認識を現実的に理解し、現実的に活用し、そして現実的に実践するすべての可能性を人間に開示する。(このコードは、言葉の知識が不足しているために本に書いてあることを完全に理解できない場合でも、直接無意識の特定の領域に働きかけるので効果がある。)

### 日常の現実、不完全さ、誤り、 進化、生涯にわたる努力

最後にもう一度明らかにし、再度強調するならば、FIGU、FIGUスタディグループおよび国内グループ、そしてまた世界中にあるその他すべてのFIGUグループの人間は誰も、他のすべての人々と同じ人間にすぎない。誤りを犯し、不完全で、いかなる意味においても無謬ではない人間。だが、我々は発展と、望ましい方向での進歩した知識および知恵の獲得とに努め、我々の自分自身の誤りと欠点を認識して取り除き、そして可能であれば我々の内的小および外的状況を改善しようと試みる人間である。我々は世界改良家ではない。彼らは素朴にも世界の変革を一朝一夕に実現しようとし、自分たちの望む変革が絶対に行われなことを知るや、憤激して失意と懐疑に陥る。それゆえ我々が改善しようとする唯一のものは我々自身である。なぜならひとえに自分自身の生涯にわたる改善と相対的な完全性によってのみ、何らかの外的な事情、組織、機関などの改善および相対的完全化を視線に捉えることができるからである。しかしながらこれは決して強制や布教、説得術や説伏によって行われてはならないし、行うこともできず、自分の人生、自分の例、自分の新しい態度および自分の行為と行動によってのみ可能である。FIGUスタディグループおよび国内グループのメンバーは、唯一この特殊な仕方でのみ、進んで適応しようとする人間を、ひいては世界を改善しようと努める。それゆえ我々はあらゆる内的小および外的な社会構造および局面の発展と一層の制御に無関心ではなく、まだ無駄、無関心、帰依および冷淡

の感情に陥ってはいないすべての責任感ある人間に共に歩むことを求める。我々は彼らにこの生涯続く過程に我々と共に参加して、全世界の状況を壊滅的な人口過剰がもはや存在しない状態にゆっくりと、しかし確実にもたらすために尽力するよう求める。人が飢えずにすみ、正義と愛の隠れ蓑の下で死刑により合法的に殺人が行われなくなる世界、拷問や苦悶、戦争や侵略、制圧、強姦、奴隷化が行われない

世界、政治または宗教・教派の指導者や権力の亡者が国民を欺き、さまざまな手練手管で搾取することのない世界、すべての人間が等価で平等であり、個人の意識と思考と感情、行為と行動の自由と発展のための機会と十分な余地、そして健全で自然な環境における健全な人生のための可能性を持つ世界…。

オンドレイ・シュテパーノヴスキー チェコ

## フィグ・ヤーパンからのお知らせ

### □ 『真理の杯』 翻訳の進捗について □

フィグ・ヤーパンでは、FIGUスイスが各国語に翻訳すべき最も重要な書籍として翻訳を奨励している『真理の杯』の翻訳に取り組んでいます。現在、序章～第9章(全28章)まで翻訳が完了し、第10章の翻訳が進められています。

この特別な書籍を翻訳するために、翻訳者とビリー・マイヤーとの間で、多くの質疑応答がなされています。必要に応じてその都度翻訳が見直され、それは時には、すでに翻訳した部分全体に及ぶこともあります。

この書籍は、原著者ビリーの意向によって、書籍としての出版を待たずに、インターネット等を通じて順次公開することが認められています。フィグ・ヤーパンでも、準備が整い次第、本紙やホームページを通じて順次公開する予定です。どうぞご期待ください。

なお、フィグ・ヤーパンでは、本書の翻訳出版を円滑に進めるため、読者の皆様から寄付をお願いしております。読者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### □ スタディグループについて □

本紙に掲載したチェコ人のオンドレイ・シュテパーノヴスキーによる『スタディグループ・国内グループの本質』については、FIGUスイスより至急翻訳して公開するように要請されたものです。ここには、フィグに関連する書籍を手にとって学ぼうとする者としての基本的な態度や留意事項が記されています。日本の読者の皆様にとりましてご参考になりましたら幸いです。

また同時に、日本国内で翻訳出版の独占的な権利を認可されたフィグ・ヤーパンは、各種の印刷物やインターネットにおいて、ドイツ語で『FIGU Landesgruppe Japan』と表記することが求められるようになりました。これは、FIGUの日本国内グループであることを意味しており、フィグ・ヤーパンが日本国内の正式なFIGUスタディグループの一員であることを示すものです。本紙『フィグ・ヤーパン通信』では、今号より巻頭に以下のとおり、表記することとしました。

### FIGU Landesgruppe Japan

### □ 長野スタディグループ □

信州地方の読者の皆様に朗報です。長野県に新しいスタディグループが誕生しました。日本には現在北海道、東京都、山梨県にそれぞれスタディグループが活動しています。それぞれ、自由に話題設定をしての読者会等が行われています。また、去年は東京スタディグループの有志によって写真展が開催されています。

信州地方の読者の皆様、近くに生活する者同士の学び合いによって、一人での学習に比べ相乗効果が期待されると思います。是非、一緒に勉強しましょう。皆様のご連絡をお待ちしています。なお、ご連絡は、はがき・電話・Eメールのいずれでも結構です。

住 所：長野県長野市松代町東条4242  
電 話：026-214-6125  
Eメール：nsg.masa.koba@gmail.com  
発起人：小林 裕昌

## 出版物のご案内

- プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録(1)  
価格 2,000 円 (税込 送料別 375 グラム)
- プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録(2)  
価格 2,000 円 (税込 送料別 440 グラム)
- プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録(3)  
価格 2,000 円 (税込 送料別 335 グラム)
- プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録(4)  
価格 2,000 円 (税込 送料別 430 グラム)
- プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録(5)  
**新刊!!** 価格 2,000 円 (税込 送料別 395 グラム)
- 宇宙の深遠より—プレアデス／プレヤール人とのコンタクト  
価格 3,000 円 (税込 送料別 765 グラム)
- 心  
価格 2,000 円 (税込 送料別 440 グラム)
- 瞑想入門  
価格 3,200 円 (税込 送料別 815 グラム)
- わずかばかりの知識と知覚そして知恵(文芸社刊)  
価格 2,400 円 (税込 送料別 845 グラム)
- アラハト・アテルサータ  
価格 2,800 円 (税込 送料別 1冊 340 円)
- 生命の哲学  
価格 1,000 円 (税込 送料別 150 グラム)
- 日本語版 水瓶座時代の声  
価格 各 1,000 円 (税込)  
83/1 号 (特集) (送料別 140 グラム)  
83/2 号 (特集) (送料別 105 グラム)  
87/1 号 (特集) (送料別 140 グラム)  
91/1 号 (特集) (送料別 135 グラム)
- 第 235 回会見  
価格 500 円 (税込 送料別 70 グラム)
- 霊と肉体における生  
価格 500 円 (税込 送料別 70 グラム)
- ビリーの少年時代の著作  
価格 500 円 (税込 送料別 95 グラム)
- 預言者エレミヤとエリヤの予告  
価格 400 円 (税込 送料別 70 グラム)
- 『瞑想入門』の手引き  
価格 300 円 (税込 送料別 70 グラム)
- 『連想／真理の杯』(DVD:FIGU-JAPAN講演会2009ビデオ)  
価格 3,000 円 (税込 送料別 94 グラム)

※このページに掲載した以外にも多数の書籍があります。ホームページ等をご覧くださいか、フィグ・ヤーパンまでお問い合わせください。

### □ 書籍のご注文について □

すべての書籍・ビデオ類のご注文は、郵便振替にて承っております。ご希望の書籍・ビデオ代金に以下の郵便料金を加えた金額を、お近くの郵便局から下記フィグ・ヤーパンの口座宛にお振込みください。なお、現金書留および切手同封による直接のお申し込みはご遠慮ください。

### □ 郵便料金表 □

50 グラムまで 120 円	500 グラムまで 290 円
100 グラムまで 140 円	1000 グラムまで 340 円
150 グラムまで 180 円	2000 グラムまで 450 円
250 グラムまで 210 円	3000 グラムまで 590 円

※4,000 円以上お買い上げの場合、郵送料は無料です。

### □ 振込用紙の記入欄 □

口座番号：00160-4-655758  
 加入者名：FIGU-JAPAN  
 (アルファベットで記入して下さい)  
 金額：送料を含めた合計金額  
 払込人：あなたの住所、氏名、電話番号  
 通信欄：購入する書籍名と冊数

### フィグ・ヤーパン通信 第 44 号 (無料)

発行日 2010 年 10 月 1 日  
 発行 フィグ・ヤーパン (FIGU-JAPAN)  
 住所 〒192-0916  
 東京都八王子市みなみ野 3-11-2-305  
 電話 042(635)3741  
 FAX 042(637)1524  
 URL <http://jp.figu.org/>  
 E-mail [info@jp.figu.org](mailto:info@jp.figu.org)  
 郵便振替 00160-4-655758  
 加入者名 FIGU-JAPAN

本書の全部または一部を無断で複製複製することは、著作権法上の例外を除き禁じられています。本書からの複写を希望される場合は、フィグ・ヤーパンにご連絡ください。

Copyright (c) 2010 by FIGU-JAPAN. All rights reserved.